

2020年9月26日

日本子ども安全学会第7回大会 実践・研究報告資料

西野友章
豊橋子どもの安全と命を守る会

「豊橋子どもの命と安全を守る会」に込めた思い

娘の死亡事故を経験した私は、教育現場を中心に安全を訴える活動をしてきました。同時に、大人が当たり前のこととしてやらなければならないことをしなかったために、子どもの尊い命が犠牲になっている多くの事例を知りました。そのような事例が繰り返されるたびに、子どもに対してなにか申し訳ない感情のまま過ごしていました。

そんな中、岡田百合香さんと、本主催の吉川優子さんとのつながりの中で知り合うことができました。

知識があれば防げたかもしれない事故がある。大人の都合で子どもたちが危険なままになっている。犠牲になった子どもの命を他人事として片付けてしまい、学ぼうとしない社会がある。岡田医師と思いが重なりました。そんな社会に強い危機感を抱きました。

そして、「子どもにとって安全な社会をつくりたい」という思いから、「豊橋子どもの命と安全を守る会」を岡田医師と立ち上げました。

花菜の育った町や、岡田医師のご家族の住んでいる町が、「子どもが安全に暮らせる町」になるように、「豊橋子どもの命と安全を守る会」がその役割を示せるように、共感の広がりが安全につながるよう取り組んでいきます。

西野友章